



# 渡邊 正一氏

ワタナベグループ 会長

## 『三位一体』が復活のカギ 強く美しい`すすきの`再生に全力

コロナ禍で苦戦が続くものの、`飲食のトータルプランナー`として業界を牽引。飲食店の存続に奔走した。

「不動産が`紙切れ`になることはない」という観点から、21年は不動産部門を強化。複数の収益物件を取得したほか、倉庫を新設するなど、積極的な投資を行うことでグループ全体の底上げを図った。

「オファーがあれば積極的に検討する必要がある」という通り、22年もM&Aに前向きで、`後継者問題`をはじめとする業界の課題解決に全力を挙げる一方、コロナの爪痕が深く残るすすきのの再生には、「ビルオーナー、飲食店、酒屋をはじめとする卸業者が『三位一体』となつて議論する必要がある」と提言。

「すすきはひとつの文化。決して衰退させてはならない」として、`強く美しいすすきの`の復活に力を尽くす。

明日を拓く  
北のフロント  
ランナー

2022

〈わたなべ しょういち〉1947年3月12日生まれ、亥年。札幌市出身、74歳。札幌東高、早稲田大教育学部卒。70年4月、渡辺食品機械に入社。74年7月に常務、89年に社長就任。2019年5月に取締役会長に就任、現在に至る。